

答え 見学ワークシート (高校生向け)

～生物多様性にまつわる12の挑戦～



1の答え



②調査

たとえば、国内の植生、動植物の分布、河川・湖沼、干潟、サンゴ礁などについての調査やモニタリングを実施しています。調査の結果は、ホームページでも見られるよ。

2の答え

②生きものの分布を調べて、震災前後の生息状況を把握するため

この調査は、身近な生きもの20種に限定して調べています。実は、誰でも参加することができる調査なんだ！



みんなも参加してみよー！

3の答え

①白い雪の上でも敵に見つからないようにするため

草が茂っている春や夏に比べて、冬は隠れる場所がないので白い毛に衣替えることで敵から見つかりにくくなります。雪が降らない地域では、色が変わらないノウサギもいるよ。



4の答え

ヤンバルクイナー沖縄本島

タンチョウー釧路湿原

リリカケスー奄美大島

ライチョウー日本アルプス

特有の生物が生息する地域を理解しよう。

5の答え

遺伝子の多様性とは

同じ「種」でも棲んでいる地域が異なると「遺伝子」レベルで個性が異なる場合があります。それを「遺伝子の多様性」と言います。いろいろな遺伝子があることで、気候変動や病気など、何かあった時に種が生き残れる可能性が高くなるとされています。

6の答え

①供給サービス

②調整サービス

③文化的サービス

④基盤サービス

生態系からは多くのサービス（恵み）を提供されます。



7の答え

実はぜんぶ正解

身近な生き物の構造や仕組みが新しい技術の開発に応用されているんだ！ポイントは、よく生きものを観察すること。そして不思議に感じたことを自分なりに考えること。



8の答え

②約175万種以上



まだ知られていない生物も含めると500万種～3000万種とも言われているんだ。

9の答え

レッドリストとは、野生の生き物を守るため、絶滅が心配な生き物を取りまとめたリストのこと。

絶滅危惧ⅠAとは、ごく近い将来に

絶滅の可能性が極めて高い種のこと。

第4次レッドリストによると、ⅠA類だけでも1,270種が指定されています。

10の解説

例えば、ツシマヤマネコ、アマミノクロウサギ、コウノトリ、アオウミガメ、クニマス、キキョウなどが絶滅危惧種に指定されています。身近な生きものでは、平成25年2月にニホンウナギが絶滅危惧ⅠBに指定されました。このままでは、今当り前に見られる生き物が、みんなが大人になる頃はいなくなっている、なんてこともあるかも!?



コウノトリ

○レッドリストのカテゴリー（ランク）
絶滅 (EX)：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)：飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類 (CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類 (EN)：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)：絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)：評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

11の答え

大きく4つの原因があるとされているよ。

- ①人間都合による開発・乱獲
 - ②人間活動の減少（自然から離れた生活）
 - ③外来種の影響
 - ④地球温暖化の影響
- ★様々な危機が影響していることを理解しよう。

12の答え

自分の考えでOK!

ここまでのクイズを通して、少しでも「生物多様性」や「環境問題」に対して関心をもってくれたら嬉しいな!



おつかれさまでした!

ここに書いてくれたことを忘れずに! 一人ひとりが、いま自分にできることを考えて、行動に移しさえすれば、地球上のどんな問題だって解決できるはずさ!!

